

社債市場の活性化に向けた考えられる主な検討課題

平成 21 年 7 月 1 日

懇談会事務局作成

社債市場の活性化に関する懇談会では、現状及び社債市場の活性化に向けて様々な課題について議論し、例えば、次に掲げる項目など幅広い視点から課題の整理及び具体策の検討・取組を進める。

1．社債発行者及び市場参加者の増加・多様化

1 - 1 発行市場

(1) 発行体

発行体の資金調達ニーズ

発行体による I R

非居住者による発行の増加

公募・私募、開示制度

(2) 投資家

多様な機関投資家の参加

個人投資家の参加

低格付社債（ B B B 格等）

非居住者による投資の増加

(3) 格付機関・アナリスト等の役割

(4) 証券会社（仲介機能）

機関投資家向け社債

個人向け社債

1 - 2 流通市場

(1) 社債（債券）市場の基礎データの整備及び市場関係者・投資者向け情報の充実

(2) 市場価格、売買参考統計値のあり方

(3) 社債レポ市場の整備

2．証券化（商品・取引）との関連

- (1) 証券化商品・取引の内容の透明性の確保・情報開示
- (2) 統計情報、価格情報等の充実
- (3) 法令、自主規制及び監査のあり方
- (4) 格付け
- (5) 信用保証
- (6) 流通市場の整備

3．デリバティブ市場との関連

4．決済システムとの関連

- ・ 清算機関（CCP）決済期間の短縮その他決済システムの一層の整備

5．税制・会計基準等との関連

- 非居住者向け国内社債利子・民間国外債利子の非課税措置
- 金融所得課税の一本化に向けた社債利子等の取扱い 等

6．その他

以 上